



コミュニティ・スクール基本理念

一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成一

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.5 令和7年5月1日 校長

楽しい遠足でした

4月28日は、待ちに待った遠足でした。この遠足は4月にがんばって勉強したご褒美のようでした。小学校の遠足には、次のような目的があります。校外での自然や文化に触れ、学習を深める。協力する大切さや必要性を学ぶ。集団行動のマナーやルールを学ぶ。友達との人間関係を深める。楽しい思い出をつくる。公衆道徳を体験する。

各学年で事前学習や準備をして、当日を迎えました。

低学年はふぐ太郎公園、中学年は東野公園、高学年は鈴鹿フラワーパークに行きました。目的地では、レクリエーションをしたり、お弁当やお菓子を食べたりして、楽しく過ごしました。

保護者の皆様におかれましては、お弁当の準備など当日に向けての準備等、ありがとうございました。



サトイモの苗植え体験を行いました

4月22日に3年生がサトイモの苗植え体験を行いました。地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、ご指導いただきました。

川崎の土の特徴である“くろぼく”の土を生かして作物を育てるために、サトイモが選ばれたこと。サトイモの特長や起源、植え方についてのお話を聞いた後、作業をしました。最初は慣れない手つきの子どもたちでしたが、ご指導いただいたおかげで、作業の後半にはかなり上達しました。ご多用のところご指導いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



フレンドリー農園の打ち合わせ会を行いました

4月10日にフレンドリー農園打ち合わせ会を行いました。フレンドリー農園とは、学校敷地の南側にある農園と花壇2か所です。この活動は地域とともにあるこの学校の大きな特色の一つです。フレンドリー農園に係る基本的な考え方は以下の通りです。

- ・ くろぼくの土を生かして作物を育てる体験する。
- ・ 能褒野開拓団の歴史を知り、苦しかった時代を生き抜いた作物を育て、地域学習活動に生かす。
- ・ 育てた作物を販売したり、調理したりして、学習活動に生かす。
- ・ フレンドリー農園での活動を通して、地域の方々とふれあい、親交を深める。

たくさんの教職員がこの度の人事異動で変わったので、自己紹介の後、年間計画や今後ご指導いただきたい内容について打合せをしました。ご多用のところ、ご来校いただいた地域の方々、ありがとうございました。



川崎小学校に鯉のぼりがやってきました

4月17日に川崎まちづくり協議会の原会長様と大矢知事務員様が学校へお越しになり、鯉のぼりをあげてくれました。いつもありがとうございます。

体育の授業の終わりにグラウンドにいた1年生児童からは、「わー!鯉のぼり!ありがとうございます!」という歓声があがりました。鯉のぼりは、日本の風習で江戸時代に武家で始まった端午の節句に男児の健やかな成長を願って家庭の庭先に飾る鯉の形に模して作ったのぼりのことです。川崎小学校の児童の健やかな成長を願うばかりです。

